

稱讚 二二〇号

二〇二〇年六月二日発行

発行 浄土真宗本願寺派 稱讚寺

〒二二一〇〇七五

東京都足立区一ツ家三丁目五番二〇号

TEL 〇三―五二四二―二〇二五

FAX 〇三―五二四二―二〇二六

HP shousanji.com

慈悲に聖道・浄土のかはりめあり。
聖道の慈悲といふは、ものをあは
れみ、かなしみ、はぐくむなり。し
かれども、おもふがごとくたすけ
とぐむこと、きはめてありがたし。

「歎異抄」第四条より

五月からH u r uの海外ドラマにはまり、最近見ているのが「ラスト・シップ」です。

ウィルスにより世界が滅亡していく中、「隻のアメリカ海軍の船が、ワクチン開発のため、一人の研究者を乗せて、航海するのです。既にどここの国家も機能しておらず、ワクチンを奪おうとする元他国の軍が出てきたり、ワクチンを開発するのに、三十数匹のサルを実験で犠牲にし、最後の一匹でワクチンが効き、クルー六人に投与することになったのですが、うち一人は亡くなってしまいます。五人も亡くなりかけたのですが、原因が判り、そのうえ、治療薬も完成するのです。ワクチン・治療薬を量産して、世界中の人びとを救おうと母国に帰ります。しかし、そこに待っていたのは、大統領もいない

崩壊した母国でした。そこでは、「新世界」と謳って、人を選別して、虐殺を繰り返していました。艦長をはじめ、ワクチン・治療薬を開発した研究者、クルー全員はその状況を知り、愕然とし

「悪疫退散」の花火 リアルタイムで見ることが出来ませんでした。これで新型コロナウイルスがなくなるわけではありませんが、自分が出ることとして、三密を避けて、人びとの心を少しだけでも和ませようと取り組まれている方もいらっしゃるのですね。



ますが、これではいけないと、立ち向かっていくのです。

新型コロナウイルスのワクチンを世界中で、今、研究しています。しかし、完成まで数年掛かると言われ、国別に競い合っているような感じが見受けられます。日本も自国作成に力を入れます。一方、自国優先が果たして良いのか？ 貧しい国、発展途上国は、ほっといて良いのか？ との意見もあります。競い合うことで、開発が進むのか、お互いに協力しあう方向はないのか？ ここでは効いても、他では効かないこともあるそうです。だから、先ずは自国からと言われるのでしょうか？ 国連は？

ラスト・シップ」でも、ワクチン開発の奪い合いがあったり、開発する上で多くの犠牲者が出ていました。助かる者、亡くなっていく者を見ていて、「喜一憂しています」。

主人公の艦長のリーダーとしての人格は、とても私などは真似できることではありません。彼こそ、聖道門の慈悲のお手本かなと思います。と言え、彼でさえ、全てを救うことは出来ず、自身のふがいなさを嘆きます。航海途中でも多くの患者がそこに居るのに、どうすることも出来ずにおりました。研究者も、多くの人を救うのだという大義名分をもっていましたが、その実は、私にしか出来ないかと考えていたように、研究を誰とも共有しようとしなかった。母国で虐殺をする者の言い分は、現実を知らなすぎる、きれいな事では済まされないと。

今月の法語カレンダー 大が何よりも執着せんとするものが自分である」 毎田周一氏）私たちは自分の正義を唯一としがちなのですね。

中木原政志さんが 111往生なされました。

去る五月二十七日、中木原政志様 法名 釋正定) 奥さまの乃既子様が当寺の門徒総代さんになられておられます(が、八十八年を二期とし、この度、往生の素懐を遂げられました。

五月二十九日、お通夜、三十日、お葬式が、厳かに行われました。

中木原さんご夫妻とは、稱讚寺の前身、足立布教所を開設するにあたり、築地本願寺さんとのご縁のあられる足立区在住の方に、開設のご案内を郵送させていただいており、その中に中木原さんのお名前も入っております。そして、開設したばかりのとき、まだ、『法縁簿』を用意してないときに、中木原さんが、ご夫婦で見えになられたことから始まります。

その後、しばらくは、お寺にご参拝されることはなかったのですが、二〇〇七(平成十九)年の報恩講さんにご夫婦でご参拝されてからは、のんのん法話会や彼岸法要・永代経法要・報恩講法要によくご参拝くださっておられました。



ここ二三年程は、お体のこともあり、奥さまだけでご参拝することが多くなっておりますが、たまに住職が奥さまを車でお送りすると、お一人でお留守番しておられた政志さんのニコリとしたお姿を拝見しておりました。

平成二十四年五月二〇日 帰敬式 於 本山



2007年12月16日 報恩講



2011年5月14日親鸞聖人750回大遠忌 東組団体参拝



2009年2月11日 鑿入れ式



2008年12月14日 報恩講



2013年6月16日 開設10周年記念 親鸞聖人750回忌記念法要・永代経法要



2011年5月13日 京都駅近く



2012年5月21日 本山降誕会



花まつり



千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 参拝



2011年11月24日



2013年3月24日 春季彼岸



2012年11月10日築地本堂修復



2013年5月21日 築地降誕会



2013年 報恩講準備

政志様は、2012年5月21日、ご本山の降誕会に参拝なされたおり、前日のお晨朝のお勤め後、帰敬式を奥さまと一緒に受式なされました。その時頂かれたご法名が「釋正定」です。出抛は、お正信偈の「本願名号正定業」です。「念仏申し、仏に成る」そのままのご生涯を送られました

末松修 さんが ご往生なされました。

去る四月二十三日、末松修一様が七十歳を一期として、往生の素懐を遂げられました。

修一さんは、以前、お父様の欣一さんと稱讚寺の真向かいにお住まいであられました。欣一さんも九十歳を超えられたことから、お二人で介護付の病院に入所されました。

お母様は平成十五年、足立布教所を開設して間もない頃、ご往生なされました。その頃から、稱讚寺が西本願寺とお知りになられて、よく法話会にご聴聞してくださっておられました。左上のお写真がお父様の欣一様です。



欣一さんが平成二十七年にご往生を為された折は、修一さんが施主をおつとめになり、稱讚寺住職がお通夜お葬式を行わせて頂きました。この度は修一さんのご往生は、妹さまにあられます

今井章子様よりご連絡賜り、住職が出仕させていただきますました。

ご法名は、**寶光院釋薫修**と名告られます院号について、お母様が**光華院**、お父様が**慈光院**と名告られており、それぞれ**仏教讃歌 冥仏にいだかれて**の歌詞の中から**お浄土を願わす 花の里**（三番の歌詞）**慈悲の国**（二番の歌詞）を想像させていただきました。それに倣い、修一様の院号も**冥仏にいだかれて** きみ往きぬ **宝楼閣 珠玉 たま**（の家） **美しきみ仏となりましし 尊さよ**の**宝 たま**から頂かれました。

同じ阿弥陀さまのお浄土にお生まれになられご一緒に、有縁の私たちにはたらいてくださっておられます。

ご法名の**釋薫修**（わやくくんじゆ）は、親鸞聖人の**教行信証**行巻に**依名はすなはちこれ劫を積んで薫修し、その万徳を攪る。すべて四字 阿弥陀仏**に彰る。このゆゑにこれを称するに益を獲ること、**浅きにあらず**から頂かれました。

修一様は、この世において、私などの思いをはるかに超えた修行をなされ、その生き様を私どもに遺してくださいました。今既に、お浄土に生まれ、仏さまと成られ、還ってきてくださったおられる証が**遺徳**なのでしよう。

先日、六月七日、多磨霊園にて、四十九日法要並びにご納骨法要が執り行われました。前日の雨もあがり、快晴の暑い日となりましたが、おつとめ中、心地よい風が吹きました。お浄土から**南無阿弥陀仏**のお念仏となつて、阿弥陀さまと共に、いつも、私たちを呼び続けておられるのだと味わうことです。



2013年築地成道会



2015年報恩講



2016年報恩講



2014年11月25日、中木原様が永代使用なされている伊興にごぞいます本派・浄光寺の墓地を共同使用させていただき覚書が成立しました。それに伴い、2014年12月11日、第1号の納骨を住職の父の分骨を中木原さんご夫妻のもと、執り行わせていただきました。爾来、7体のご納骨させていただいております。稱讚寺が宗教法人を取得し、納骨壇（室）を設置するまでと言いながら、お言葉、ご配慮に甘えて、今日に至っております。政志様のご存命中に成し遂げられず、申し訳ないことであります。

親鸞聖人御誕生八五〇年

立教開宗八〇〇年 慶讃法要企画

親鸞聖人を知ろう

でんしやう こしやう
伝承と己証

浄土真宗で師資相承を語るとき、古くから一器瀉瓶きしやびょうといい、法然と親鸞の信仰が同一で変わりないことを伝えていた。しかし、これをあまり強調すると親鸞を浄土真宗の開祖とすることができなくなる。真宗教学に伝承と己証ということばがあるが、いわば伝鈔が教えの一貫性であり、己証が教えの相違といえる。まず、親鸞の捨自帰浄しきじきじやう 聖道門しやうどうもんの教えを捨てて浄土門の教えを信じることに、はたしてどういう経過があったのだろうか。このことを、恵信尼消息けいしんにきせきには生死出づべき道をば、ただ一すぢに仰せられ」また、『教行信証』(化身土巻)に「真宗の肝要、念仏の奥義、斯こゝに撰せん在ざいせり」とあるが、おそらく吉水で聞いた法然の法話こそ、『選択集』の肝要であったのであろう。法然の法話に心を動かされ、捨自帰浄し、親鸞の新たな旅立ちが始まったのである。この時の法話は『教行信証』の「行巻」に引用している。

南無阿弥陀仏 念仏こそが浄土に往生できる業たねである」と、迷いと苦しみの人生からはやく離れたいと願っている人たち

よ。仏教のすぐれた教えのなかでも浄土の教えを選びとり信じなさい。そして、阿弥陀仏の浄土に往生できる正行を信じなさい。また、その中でも正定業である称名行が大事である。阿弥陀仏の名を称えれば、必ず阿弥陀仏の浄土に往生できる。なぜならば阿弥陀仏の本願に依る救いだからである。― 取意 『選択集』(

の文言もんごんであったと思われる。ここを震わせて法然から聞いたのは、生死出づべき道の専修念仏の教えであったにちがいない。法然は「浄土に往生できる行は、唯一で南無阿弥陀仏の御名みなを称えることである。このように断言できるのは阿弥陀仏の本願の誓いがあるからである。― 取意 『選択集』」と答えている。それは「授くるに浄土の二宗を以てし、示すに念仏の一行を以てす」ことであった。吉水時代に親鸞が法然から伝承したのは、阿弥陀仏の本願に裏づけられている救い」と、ただ念仏して弥陀にたすけられまゐらすべし」道であった。

これは、『選択集』の引用文から明白である。『教行信証』(行巻)と『尊号真像銘文』そんごうしんざうめいもんとにさきの二文を引用している。法然を尊敬し継投けいとうしている親鸞にしては少ない引用である。このことについて、学者はこれを以って『選択集』一部の全体を引用している」と説明している。親鸞が尊敬した三国七祖さんごくしそに一貫して流れている教えが「本願念仏による救い」であるが、法然からは念仏往生義を伝承したのである。法然教学の根本は阿弥陀仏の本願である。

これはまた法然の帰結でもあった。法然の説く念仏は自力の念仏ではないが、本願文にある至心しん・信楽しんがく・欲生我国よくしやうこくの三心と十声の念仏することが必要であった。親鸞への課題はここに残されていたといえる。

親鸞は天親てんしん (世親せしん) の『浄土論』と曇鸞どんらんの『往生論註』の教えに導かれて、この課題をク

リアして他力回向たりにかえりやうの教義を確立した。これが親鸞の己証である。善導ぜんどうと法然の念仏往生義をあきらかにするために、『浄土論』と『往生論註』の教えから念仏往生義を深化しているのが『教行信証』だといわれている。親鸞は『往生論註』を通して、法然教学に残された課題を解決したといえる。親鸞の他力回向義の教えは法然の念仏往生義の真意をあきらかにしたものであった。法然の他力義をおしすすめて他力回向義へと展開した親鸞は、人間観でも究極的なところまで言及している。つまり、曇鸞の教えによって人間の内面をギリギリまで掘り下げている。もっとも、善導・法然によっているところもある。その影響は愚禿悲歎ぐとくひたんじゆつ述懐和讃じゆつわいざん」にみえる。親鸞は人間そのものの本質を虚仮不実こけふじつと説いている。まさに親鸞の生涯で、この吉水時代は人生の大きな転換期となり、これから生きる道が定まったときであった。いいかえれば、生涯変わらぬ尊敬する法然との邂逅かいごによって、生きる力が与えられ、これから生きる道が決定づけられた時代であったといえる。

法然と親鸞の浄土観



仏に成るとは人間の完成したがたであり、迷いの世界から解放されることである。その成仏は仏国土である浄土で完成する。この仏国土を浄土・極楽と漢訳したのが仏典翻訳史に燦然と輝く鳩摩羅什（三四四〜四一三）である。仏教徒のすべては浄土をめざして生きていくといえる。ここで法然と親鸞が伝えている浄土の違いを簡単にふれておきたい。

法然は親鸞と違って体形化している浄土を説いていない。かれは、阿弥陀仏の願いにならずに、ひたすらに念仏する生活を説き、阿弥陀仏の浄土に生まれることをすすめている。法然が伝えている浄土は、善導の教えが影響している。組織づけて論理的に追求しているものでない。宗教的実在としての浄土をすなおに受けとめて、阿弥陀仏の世界に生まれることを切望している。浄土は理想の世界であるが、そこは人間の欲望を満たす世界でなく、私たちに真実に目覚めさせる世界であると説き、さらに苦悩の人びとを苦悩から解放したいという阿弥陀仏の純粋無垢な願いが修行によって完成された世界であると伝える。善導が説いた浄土の方向と浄土のすがたをもって身近な例で説いている。つまり、浄土は西方にあり、その世界はこのようなできあがっていると具体的な説示をして、浄土に往生することを勧めている。

また、法然には浄土三部経を解釈した『経釈』という小さな著書がある。このなかで浄土がどのような世界かを詳述している。つまり、浄土は阿弥陀仏の大悲心の世界であることを明かすのである。浄土は苦悩の人びとを救いとする大きなはたらきをしている世界であると説いているのが特徴といえる。そして、阿弥陀仏の阿弥陀という三文字にはあらゆる仏や菩薩の功德がこもっていると説いて、すべての極楽世界に、いずれの法門かもれたるところあらむ」と、阿弥陀仏の世界はすべての真実が統括されている仏土であると位置づけている。なお、阿弥陀仏の世界に往生した人は、仏世界にとどまらないで、迷いの人びとを導くはたらきをするといっているから、仏に成ったあとには利他活動をするという証果を説いているといえる。

法然が具体的に浄土の様相を示して、人びとに西方浄土をすすめているのに対して、親鸞は本質から浄土を説いているといえる。この説き方には曇鸞の考え方が多大に影響している。親鸞は法然・善導から人間の本质を徹底的に追求して煩惱具足の凡夫といいきっている。親鸞の考えからは、どこまでも煩惱を断ち切ることでできない人間は、どうしても成仏すること、浄土に往生することもできないのである。煩惱をもつ人間が浄土に往生し成仏できるのは、阿弥陀仏のはたらき、仏力とか本願力（ほんがんりき）によっているからであると説く。煩惱が断ち切れない人間と阿弥陀仏のはたらきの接点を表わすことばが他力回向の信心である。親鸞は「親鸞聖人七十五回大遠忌記念 親鸞」

行信証』真仏土巻）に阿弥陀仏と浄土を証明するために多くの諸経論を引用している。法然が身近な表現でもって浄土を説いているのに対して、親鸞は浄土の本質を説いているのに特徴がある。そして、阿弥陀仏の願いからできている世界で、浄土の本質は涅槃であること、浄土のために報土と表現している。浄土がなぜ存在しているかについて、中国の曇鸞は大間の生き様を見ると、尺取り虫が同じところをグルグルと回って泳いでいるのに似ており、蚕が繭をだして自分の体をがんじがらめにしているのと同じである。それはいつも執着してこだわりながら生きていく姿である。阿弥陀仏はこんな生き方をしていく人びとをあわれみ、安らいで生き世界をつくりたいと願い、その世界を完成させた。その仏国土は清らかな願いのものにつくられているので、できあがった世界も清らかである。意識（ぎし）「往生論註」と説明している。親鸞はそのところを受けついで、浄土の本質を光明無量と寿命無量と示して、浄土は涅槃の世界であると「親鸞行信証 真物土巻」で証明している。私の現実生活と浄土は無縁の世界ではない。親鸞の理解からいえば、私の生活と浄土は深く関わりながら存在する世界である。私たちがいつも導いていると、親鸞は浄土のはたらきを説いている。まさに法然のもとにたどりつくまで、悩みながら求めていた生死出づべき道が、ここに開かれていたのであった。親鸞にとって浄土は現実から遠くにある世界ではなく、いつでも、どこでも今の自分を導きつつけている世界なのである。



我が親鸞像

高 史明氏

末法五濁」の世を生きる
未曾有の世界危機に直面して

一

一切の有情は、みなもって世々生々の父母兄妹なり」

『歎異抄』の第五章は、右の言葉を開示していました。人間もまた、その存在を根っこにおいて見るなら、石・瓦・礫と親しいといわれているのです。日本の鎌倉期の念仏者・親鸞は、この一言をもって生きとし生けるものの根っこの真実を開示していたのでした。今日では現代人もまた、その数学的理性を駆使して、人間と機械時計に通底する根っこを見届けているといえます。確かに万物は、原子の段階にまで下がって見るなら、親兄妹に等しい間柄だったのです。

しかし、親鸞聖人の目線と現代人の数学的理性には、等しく存在の根っこを指しながら、そこに天と地ほどの違いがあるのではないか。親鸞の目線は、仏縁に導かれており、数学的理性の目線は何処までも「飯」に纏いつかれています。私が親鸞聖人の生きとし生けるものの根本的縁の真実に気づかされたのは、一人子の

死を機縁としてのことでした。しかも、この「違い」は、現代世界の危機に関わって見ると、まさに根源の違いとなっていると考えられます。まずは今日の世界に目を向けて見ましよう。

思えば、現代世界は、恐ろしい速さで奈落へと墜落しているのです。アメリカのサブプライム・ローンの魔術的カラクリが露呈し、現代文明の実体経済は、いまや刻々と薄っぺらな金融商品の荒野に変容しています。現代人の数学的理性は存在の根っこを開く一方で、バーチャル商品を作り出し、それを世界中にばら撒いていたのでした。アメリカからは自動車産業のビッグ・スリーの危機すら伝わってきている。アメリカがくしやみをする、日本は肺炎になるとの皮肉がありました。○八年の歳末には、日比谷公園に路上生活者のテント村すら出現する事態となっている。昨日まで日本の繁栄を牽引していた先進企業が、突然、いわゆる派遣労働者を路上に放り出したのでした。年末のテント村では、炊き出しすらおこなわれていた。この恐慌は何処にゆくのでありましょう。

世界中の街路に失業者が溢れようとしています。思えば、現代世界はすでに一九二九年の恐慌を体験していたのでした。その年の十月二十四日、ニューヨークの株式市場が大暴落し、世界中を恐慌の暴風雨に巻き込んだのです。しかも、この大恐慌はやがて、第二次世界大戦の導火線となつている。人間の数学的理性とは何でありましょう。万物が関係存在としては、親兄妹のように近いことを見届ける一方で、その「チエ」を駆使してバーチャル商品を作り出し、それが恐慌の暴風雨を巻き起こすと、今度

はその「チエ」の限りを尽くして戦争へと突入するのです。今回の深い信用不安の大津波の最中にも、イスラエルが突然、パレスチナ自治区のガザへの空爆を開始しました。

しかも、戦車軍団をも動員して地上侵攻に踏み出している。夥しい犠牲者の遺体が、ガザのがれきの上に出現しました。その多くは子どもです。国連施設の学校までが、破壊された。国連は即時停戦を決議しました。しかし、アメリカのライスは棄権しました。アメリカのブッシュは、イラク戦争のときも国連を無視して決行したのでした。今回もライスの棄権は、イスラエルのオルメルト首相を大いに励ましたに違いありません。市街地へ白リン弾が撃ち込まれ、さらにはガザへの長期駐留が公言されたものでした。

劫濁のときうつるには

有情ようやく身小さなり

五濁悪邪まさるゆえ

読蛇悪龍のごとくなり

十 『正像末和讃』)

「劫濁」とは「五濁」の中の「時代の濁り」を指すものです。人間の「チエ」には、時代の濁り、欲望の濁り、資質の濁り、さらには命の濁りが潜んでいたのです。今日の経済危機の足下に進捗しつつある深い全体的危機を、今ひとつ挙げて見たいと思います。現代世界の経済的危機はまた、地球環境まるごと危機と重なっているのです。

二〇〇七年十一月、日本学術会議が地球の温暖化の危機を巡って、公開シンポジウムを開催

していました。そして山本良一氏（東京大学）が、その基調講演で述べています。二酸化炭素の排出による地球温暖化は、予想以上に深刻化している。気温の上昇は、過去千三百年間を見ても現在が最も高くなっている。二十一世紀中には北極海の氷は消滅するといわれている。海面水位は一・八ミリ／年（一九六一〜二〇〇三）から三・一ミリ／年（一九九三〜二〇〇三）に加速しており、海洋は酸化し、二酸化炭素の吸収は減少することが予測されている。このような地球温暖化の暴走、人類による制御不可能な状態）のポイント・オブ・ノーリターンまであと数十年という時代を迎えており、地球温暖化の危機に世界がエコイノベーションで立ち向かうべきであると。

そして、この山本教授の基調報告にかかわって、村瀬有氏がさらにつぎの注目される論考を提示していました。実は地球両極の雪氷の重要な役割はもうひとつある。それは太陽光を反射して地球の温度上昇を抑制していることである。極の雪氷はその太陽光線のほぼ九〇パーセントを反射しているのである。地球物理学者なら誰でも知っているが、もし極の雪氷がなくなれば、地球はただちに灼熱地獄になることを。地球温度が上昇し雪氷が減少し始めると反射機能が低下し、温度上昇は加速度的になる。界面科学技術機構誌「地球を救うのは誰」。福田内閣の時の洞爺湖サミットは、この環境破壊への不安が契機となって開催されたのでありましょう。しかし、その結果は、温室ガスである二酸化炭素の排出を二〇五〇年までに現在の五〇パーセント減にすることを全体の目標とすることを期待する」というものでした。現代

世界の危機こそは、まさに未曾有の危機にほかなりません。

二

出口はあるのか。ここに今一度、親鸞聖人の眼差しに立ち返って見たいと思います。親鸞と数学的理性は、ともに一切の存在の親兄妹にも似た親しい間柄を指摘していたのでした。しかし、親鸞は存在にかかわるその指摘に立って、さらにいま一步根源的に告げていたのです。

「いずれもいずれも、この順次生に仏になりて、たすけそうらうべきなり。．．．」と。

思えば、数学的理性にはこの「順次生」がなかったのでした。それどころか、現代人は「この順次生」と聞くと、何を思うか。「順次生だと、そんな世界が何処にある？何を抹香臭い！」と。しかし、人間世界には、確かに「この順次生」がすぐそこに開かれていたのです。

例えば、アメリカの民衆は、黒人出身のオバマ氏を、新しい大統領に選んだのです。明らかにブッシュの独善と強権の軍事路線の転換を望んだのでありましょう。新しいアメリカ大統領が誕生する式典会場を揺るがした地鳴りは、まさに危機の時代の地殻から吹き上がったものだと思います。いまに思えば、その地鳴りこそが、イスラエルのガザ撤退をうながしたのではないか。

確かに、「順次生」は、何時、何処の誰にも開かれていたのです。もちろん、親鸞の見つめる「順次生」は、穢土を超えた浄土にほかなりません。親鸞にはしかし、穢土とともに浄土もまた、人間には「仮」として現れるほかないと

見る視点があったのでした。その意味からしても、まさにアメリカの新しい大統領誕生の時と場を揺るがした地鳴りと歓声は、まさに「順次生」の証にほかならないといえます。言葉で代えていうなら、ブッシュ政権が、偽りの大義のもとに発動した戦争によって義なくして死んだ、何十万という戦争犠牲者が、まさに地殻の底から「この順次生」を求めたといっている。

因みに親鸞は、その第五章の冒頭を次の言葉によって開いていたのでした。親鸞は父母の孝養のためとて、一辺にても念仏もうしたること、いまだ候わず。そのゆえは、一切の有情はみなもって世々生々の父母兄弟なり。いずれもいずれも、この順次生に仏になりて、たすけ候うべきなり。．．．」と。私は亡き子の供養のための念仏を唱えようとして、この冒頭に額を打たれたのでした。人間とは、念仏をもみずからの生の手段にするのでした。しかしまた、その闇が砕かれる瞬間には仏縁によって、「この順次生」が開かれるのです。未曾有ともいわれる危機の時代にあつて、いまいよいよ「この順次生」が願われてなりません。

親鸞聖人の『教行信証』には、「化身土」が開かれていました。その「末」に次の言葉が明示されています。

無明、慧眼を覆う、生死の中に来往す。往來して所作す、更にたがいに父子たり。怨親しほしほ知識たり、知識しほしほ怨親たり。ここをもつて沙門、俗を捨てて真に赴く、庶類を天属に均しうす。榮を遺てて道に即く、含氣を己親に等しくす。．．．」。

稱讚寺 行事予定

二〇二〇年 六月の行事予定

※「不要不急」の外出はお避けください。

- 六日(土) 門信徒の集い 午後二時
 - 七日(日) 日曜礼拝 午前九時
 - 四日(日) 日曜礼拝 午前九時
 - 六日(火) のんのん法話会 午後二時
 - 二日(日) 日曜礼拝 午前九時
 - 二六日(金) のんのん法話会 午後二時
 - 二八日(日) 日曜礼拝 午前九時
- 永代経法要 午後一時

二〇二〇年 七月の行事予定

- 五日(日) 日曜礼拝 午前九時
- 門信徒の集い 午後二時
- 六日(月) のんのん法話会 午後二時
- 二日(日) 日曜礼拝 午前九時
- 中木原政志様四十九日法要 午前十時
- 六日(火) のんのん法話会 午後二時
- 歓喜会法要)
- 九日(日) 日曜礼拝 午前九時
- 二六日(日) 日曜礼拝 午前九時
- 親鸞聖人を知ろう 午後二時

二〇二〇年 八月の行事予定

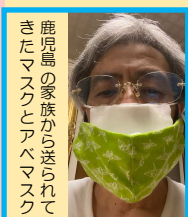
- 二日(日) 日曜礼拝 午前九時
- 門信徒の集い 午後二時
- 六日(月) のんのん法話会 午後二時
- 九日(日) 日曜礼拝 午前九時
- のんのん法話会 午後二時
- のんのん法話会 午後二時
- 孟蘭盆会法要 午後一時
- 六日(日) 日曜礼拝 午前九時
- 一三日(日) 日曜礼拝 午前九時
- 一六日(水) のんのん法話会 午後二時
- 三〇日(日) 日曜礼拝 午前九時
- 親鸞聖人を知ろう 午後二時

編集後記

五月に入ってから、稱讚寺全体の大掃除を始めました。開所からの十八年分を整理するのに、礼拝室はひっちゃかめっちゃかになっていました。漸く六月の内勤までには、間に合いました。アメリカで、警官が黒人男性の命を奪ったことが引き金となって、デモ、暴動が起っています。コロナウィルスも影響しているのですが、人種差別・格差が現前とあることの証拠です。

HYUの「ビューマンス」は、人間とAIが共存している世界が舞台です。AIは、人間に従順に作られていたのですが、意識を持ち出します。すると、自分達は奴隷ではない、「人のいのち」を持つ者として、お互いに尊重していける社会を目指そうとします。中には、これまでの仕打ちに対し、暴挙に出て、逆にAIが人間を支配しようとする者もいます。一方、人間側は、意識を持ったAIを恐れるのですが、理解し、かけがえのないものとして、愛する人もいますが、多くは、差別の側に立ちます。このドラマで印象に残った一つに、ある学舎が、自分の息子が亡くなる時、主治医から痛みもなく、安らかに死んだと言葉を信じてきたが、痛みを感じるものなのか？とAIに尋ねます。AIは「死は不安ではない」と答えるのです。

誰もがそう思っているのではないのでしょうか？でも、だからこそ阿弥陀さまのご本願があることを聞き做っていきたいと思います。



鹿児島家族から送られてきたマスクとアヘマスク

二〇二〇年度 稱讚寺門信徒会費

年会費 六千円

振込先 城北信用金庫 一ツ家支店

名義 浄土真宗本願寺派 稱讚寺教会

代表 北村 信也

口座 普通 6176051

一日の大切さは

ねんれい と ねんれい

年齢を問わない

二〇二〇年 心のともしび」六月カレンダーより

ついでに たいせつ